

# 2021年度（9月出発）学術交流協定に基づく 派遣学生募集要項

国際交流センター

本学と学術交流協定大学との留学生交流の一層の充実を図り、相互の教育・研究水準の向上に資すると共に、両国間の相互理解と友好親善を増進することを目的とし本学と学術交流協定を締結している、海外の大学への2021年度私費派遣学生を下記のとおり募集する。

## 記

### 1. 派遣期間

2021年9月から2022年3月までに開始、派遣期間は6か月以上12か月以内。

### 2. 派遣留学の内容

留学とは、本学と学生相互派遣学術交流協定を締結している海外の大学において開講されている授業を聴講し、単位を取得することを指す。

※英語圏以外の協定校では、現地語で開講される授業の他に英語で開講されている授業があるが、全ての分野・科目が英語で開講されているとは限らない。

### 3. 学籍上の取扱いと授業料

室蘭工業大学学則第39条、大学院学則第21条に基づく「留学」となる。

（「留学」の届出を提出し、留学期間中の授業料を納付する。留学期間は在籍期間に算入する）

派遣先大学では非正規生（学位取得を目的としない学生）となる。両大学間の授業料相互不徴収協定により、派遣先大学での授業料は免除される。

### 4. 単位認定

留学先で取得した単位は、成績証明書と授業の詳細がわかる資料を提出することにより、本学で取得した単位として認定（単位互換）されることがある。（本学で未取得の相当科目がある場合のみ）

### 5. 応募資格及び条件

本学の正規の課程に在学する「学部学生」及び「大学院生」で次の要件を満たす者。

- ① 学業成績優秀者（原則、成績係数2.3以上（注1））
- ② 留学の目的及び計画が明確で、海外での留学で効果が期待できる者。
- ③ 留学期間終了後再び本学に戻り、勉学を続ける者。
- ④ 応募時点において原則として、TOEICスコア430点、実用英検2級相当以上の英語力を有する者。  
もしくは、TOEFLやIELTS等他の英語能力試験により上記と同等以上の英語力を有する者。

注1）成績係数の算出方法：CAMPUS SQUAREで示されるGPAとは異なるので注意すること。

A(100-80)、 B(79-70)、 C(69-60)、 D(59-00)

成績係数 = 
$$\frac{(Aの単位数 \times 3) + (Bの単位数 \times 2) + (Cの単位数 \times 1) + (Dの単位数 \times 0)}{総登録単位数}$$

注2）協定校で授業聴講に必要な英語レベル

概ね TOEIC 750、IELTS(Academic) 6.0、TOEFL iBT(Internet Based Test)80

※協定校ごとに英語レベル指定がある。英語力が協定校指定レベルに達していない場合は、協定校側の受入れ審査で受入れが認められない場合がある。

## 6. 応募方法

(1) 応募締切 2021年1月29日(金) 17:00

### (2) 提出書類

① 「2021年度室蘭工業大学派遣留学応募用紙」 (Word)

② 留学計画書 (Excel)

③ TOEIC、IELTS(Academic)TOEFL、英検のいずれかのスコア証明書

(※提出後により高いスコアの試験結果が得られた場合は、面接試験までに申し出があれば再提出を受け入れる)

(3) 提出書類①及び②は、指定のファイル形式のまま、その他の添付書類はPDF形式又は写真データとして、Eメールに添付し学籍番号@mmm. ~のメールアドレスから、j-kokuko@mmm.muroran-it.ac.jp宛に提出すること。提出する際は、各ファイルにパスワードを設定し、本パスワードを別メールで送信すること。

## 7. 学内選考及び最終的な派遣決定

### (学内選考)

応募者全員に対して面接を実施し、提出書類と総合して判断の上、派遣留学候補者を決定する。面接日時等は、応募締め切り後に応募者に直接通知する。

### (最終決定)

派遣留学候補者決定後、協定校へ申請手続きを行い、協定校が受入れの最終決定を行う。各協定校が受入れ要件として求める語学レベルに達していない場合等、受入れが認められないこともある。受入れ先大学から受入決定通知があった時点で、正式に派遣留学生として決定する。

## 8. 派遣学生の提出書類

派遣留学が決定した学生は、次の書類を提出すること。

### (1) 派遣出発前 提出先：学務課教育支援係

① 留学願 (本学学長あて)

② 派遣先で履修する授業科目名又はプログラム名が分かる書類

③ 上記②に係るシラバスに相当する書類

※②及び③の書類は、派遣前に本学の単位読替科目や卒業研究又は特別研究の一部とするかを確認するために提出を求める。

※派遣先の活動内容が、本学の卒業研究又は特別研究の一部とする場合は、上記の書類の他、追加書類を依頼する場合がある。

### (2) 留学終了後 提出先：入試戦略課国際交流室①及び学務課教育支援係②

① 留学報告書

② 受入大学の成績証明書 (単位を取得した場合)

※上記の他、取得単位やプログラムに応じて、追加書類を依頼する場合がある。

## 9. 留学費用と室蘭工業大学奨学金

派遣学生の渡航・勉学・生活費等の留学に要する費用は、自己負担となる。

なお、学内選考における上位の者に下記により奨学金を支給する。

室蘭工業大学派遣留学・語学研修支援制度 月額6万円～8万円

## 10. 派遣留学の対象となる交流協定校

授業料相互不徴収協定により派遣先大学の授業料が免除になる大学は以下のとおり。

(注1 一部の大学において授業料相互不徴収協定がないため、個別協議が必要)

大韓民国	忠南大学校、安東大学校、釜慶大学校工科大学、ソウル科学技術大学校、韓国海洋大学校、東義大学校、江原大学校、清州大学校
中華人民共和国	河南理工大学、北京科技大学、瀋陽工業大学、華中科技大学、蘇州大学、内モンゴリアカデミー、曲阜師範大学、上海交通大学コンピュータサイエンス学科、大連理工大学、天津大学・知能計算学部
台湾	大葉大学、国立台中科技大学、国立台湾大学・電気情報学部
モンゴル	工業技術大学
タイ	チェンマイ大学、キングモンクット工科大学ラカバン校、泰日工業大学、ナレスアン大学
ベトナム	ハノイ建築大学
インドネシア	北スマトラ大学
マレーシア	トゥンクアブドゥルラーマン大学
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学
ドイツ	ダルムシュタット工科大学電気情報工学部、ロストック大学、ツヴィッカウ応用科学大学、フライベルグ工科大学
フランス	トロワ工科大学
ポーランド	AGH科学技術大学(注1)
ハンガリー	ミシュコルツ大学機械工学・情報学部
オーストリア	レオベン大学
イタリア	ジェノバ大学
フィンランド	アールト大学電気工学部、東フィンランド大学理学・森林学部
ウクライナ	プリアゾフスキー国立工科大学(注1)
ロシア	極東連邦大学
ブラジル	パラナ連邦工科大学
インド	カルカッタ大学応用光学・フォトニクス学科
ネパール	トリブバン大学PNキャンパス(注1)

## 11. 受入れ先大学における経費等(本学学生を派遣した経験のある大学の場合)

各大学の留学中における諸経費の参考額は次のとおり。

### (1) オーストラリア・ロイヤルメルボルン工科大学

授業料 なし

最初にかかる費用 約180,000円(敷金、最初の家賃、家具など)

生活費(月額) 約80,000円(食費、その他必要経費)

保険料(月額) 約10,000円

HPアドレス <http://www.rmit.edu.au/>

### (2) ドイツ・ロストック大学

授業料 なし

宿舎費(月額) 約33,000円(学生寮、入居時のデポジットあり、3人部屋)

生活費(月額) 約80,000円(食費、その他必要経費)

保険料(月額) 約10,000円

HPアドレス <http://www.uni-rostock.de/>

### (3) フランス・トロワ工科大学

授業料	なし
宿舍費（月額）	約45,000円（学生寮）
生活費（月額）	約70,000円（食費、その他必要経費）
保険料（月額）	約10,000円
HPアドレス	<a href="https://www.utt.fr/">https://www.utt.fr/</a>

### (4) 台湾・台中科技大学

授業料	なし
宿舍費（月額）	約9,000円（学生寮）
生活費（月額）	約60,000円（食費、その他必要経費）
保険料（月額）	約10,000円
HPアドレス	<a href="https://www.nutc.edu.tw/bin/home.php">https://www.nutc.edu.tw/bin/home.php</a>

## 12. その他

- (1) 派遣学生が渡航する際に、当該渡航国・地域が外務省海外安全ホームページの海外危険情報及び感染症危険情報がレベル1以下であること。
- (2) 提出書類の情報は、派遣者選考、奨学金選考、海外危機管理サービス及び海外旅行保険の加入手続き、派遣先本学学術交流協定校の出願手続き、派遣留学の円滑な実施及び派遣留学終了後の報告会や説明会等の為にのみ使用し、その他の目的には使用しません。